

編集後記

2010年5月の厚生労働省の発表によれば、平成21年度の労働災害による死亡者数は初めて1,100人を下回り、過去最小となったそうです。しかしながらその死亡者数を業種別で見れば、数自体は減少傾向にあるとはいえ建設業が3分の1以上も占めており、建設業における安全への取り組みが必ずしも十分でないことを痛感させられます。

製造業のように、安全のための設備がきちんと整えられた環境で、基本的に決められた手順で作業を行う場合と異なり、建設業の場合は何も無いところに物を創り上げてゆく、または壊して新たに創り上げるような作業を行うものです。そのため作業環境には不確定な要素が多く、場合によっては臨機応変な対応が求められるという実情が、他の業種に比べて安全の確保を困難にしているのかもしれない。

今や安全への配慮は決して特別なものではありません。設備や機械に頼るのではなく、作業をする一人一人が日常から心がけ、当たり前のことを着実に行うことが重要なのは言うまでもないことです。事実、建設業における労働災害の減少は、そう

いった地道な行動の積み重ねによって実現しているといえます。それだけに「建設施工の安全対策」をテーマとして特集するこの7月号の計画に際しては、安全のための画期的な新しい事案というものがなかなか見つからず悩まされたのが正直なところでした。

自動車の世界においては、車間距離の維持や自動ブレーキなどといった、安全に対するさまざまな新技術が生み出されています。こういった最新鋭の技術は頼もしい限りですが、あくまでそれらは補助的なものであり、結局は使う人の意識が欠けていれば、どんな技術でも安全を補うことができません。建設分野においても、本誌でご紹介いただいた最新鋭の機器や取り組みはすばらしいものばかりですが、個人の意識が欠けていてはせっかくの先進技術も活かされません。そのことを肝に銘じなければならぬとあらためて思います。

最後になりますが、お忙しい中にもかかわらず寄稿いただいた方々には、直接お礼のご挨拶ができないことをお詫び申し上げます。この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

(渥美・高木)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	今岡 亮司
上東 公民	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

編集委員長

岡崎 治義 (株)東京建設コンサルタント

編集委員長代行

太田 宏 三井造船(株)

オブザーバ

山下 尚 国土交通省

編集委員

山田 淳	農林水産省
松岡 賢作	(独)鉄道・運輸機構
圓尾 篤広	(株)高速道路総合技術研究所
石戸谷 淳	首都高速道路(株)
高津 知司	本州四国連絡高速道路(株)
松本 久	(独)水資源機構
松本 敏雄	鹿島建設(株)
和田 一知	(株)KCM
安川 良博	(株)熊谷組
渥美 豊	コベルコ建機(株)
富樫 良一	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン(株)
星野 春夫	(株)竹中工務店
泉 信也	東亜建設工業(株)
斉藤 徹	(株)NIPPO
高木 幸雄	日本道路(株)
堀田 正典	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
中村 優一	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
鎌田 裕一	五洋建設(株)
藤島 崇	施工技術総合研究所

8月号「ロボット、無人化施工特集」予告

- ・アスベストプロジェクトの取り組み アスベスト除去ロボットによる無人化施工システム
- ・赤松谷川9号床固工事における無人化施工
- ・無人化施工によるプレキャストカルバート施工と遠隔測量ステーションの開発
- ・耐環境性の高い消防防災向け検知ロボットの開発
- ・自由断面掘削機自動化掘削システム ブームヘッダー RH10J, RH250MB-SLの自動掘削
- ・双腕型建設用マニピュレータの遠隔操作支援技術の開発
- ・施工データの共有化システム

No.725「建設の施工企画」 2010年7月号

[定価] 1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成22年7月20日印刷

平成22年7月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖 三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	〒980-0802 仙台市青葉区二丁目16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322